

予算審査特別委員長報告

(草柳寛衛委員長)

議案第48号を原案可決

3月2日から4日までの3日間、全議員による予算審査特別委員会での慎重審議を行った。

概要 平成28年度当初予算一般会計の総額は、299億3,021万円で、前年度比0・9%の増。

予算を編成するにあたり、歳入歳出全般にわたり徹底した洗い直しを行う一方、歳出については、「南島原市総合計画」が目指す本市の将来像実現に向けた重要施策に「選択と集中」による予算の重点配分を継続して取組む。それに加え、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った人口減少対策、地方創生に関する事業。「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」の実現を具体化する事業などに関する、「南島原市創生特別枠」を設定し、着実にそ

の実現に向けて取組む予算となっている。

質疑 歳入に対する主な質疑

質疑 固定資産税が伸び続けている理由は。

答弁 一昨年頃から太陽光発電の設備がかなり投資をされ、償却資産が24億円程度増えている。

質疑 地方交付税が新年度から5年間で減らされるが、その削減割合や額は。

答弁 28年度は合併算定替えの1割削減で、額は2億円から3億円と試算している。その分をふまえて、28年度は27年度と比較して3億円の減を計上している。

質疑 歳出に対する主な質疑。

質疑 有家庭舎建て替えについて、市民の声は聞いたのか。また、既存のままの場合、耐震工事

や修繕費がどれくらい見込まれるのか。
新築で26億円ほど要し、合併特例債を使えば市の負担は10億円ほどと聞いたが。

答弁 直接市民の声を聞いてはいない。また、耐震や改修をした場合、改修費8,400万円、3階事務スペース部分の改修費600万円、長寿命化を図る場合の屋上の防水、外壁等で、1億5,000万円、耐震工事4,900万円程度と見込んでいる。

長いスパンで考えると、今建替えた方が経済的にはメリットがあるということと判断している。

質疑 これからは、非常に財政的に厳しくなっていく。合併特例債は借金だということを考えないといけない。市民の要望はもっと他にあるはず。市民の皆さんの意見を聞き、今本当に建替が必要なのかをもっとよく検討すべき。

答弁 一般質問や今日の特別委員会でもいろいろ指摘を受けた。これは住民あってのことだと思うので、今後市長と相談しながら再検討をしたい。

質疑 深江庁舎建て替えについては、基本設計が2,060万円計上されているが、深江の市民から反対の意見が出ている。

答弁 1月末に深江町内の自治会長への説明会を行った。いろいろ意見も出たが、反対者は少数だった。深江町自治会長から反対の申出書が出されているが、内容は駐車場が不足するからという趣旨だった。企業とも十分相談をして深江市民の方に迷惑を掛けないような形で駐車場を整備していくと話をしていたが、良く伝わっていなかったと思う。今後深江の住民の方には丁寧に説明をする。

質疑 もし建設する場合、駐車場はどうするか、会社との話し合いは。

答弁 トータルレマ1ヶティンクが100名規模の増員を予定しており、3交代で40台近く増える。当然市の機能無くすことは出来ない。市の最低限の面積は確保したい。今後もっと深江町の皆さんと相談をしながら進めていく。

【※この庁舎再編整備事業予算については、3月3日、予算審査特別委員会休憩中の全員協議会で、市長から「今後、市議会及び市民の声を聞きながら、十分検討したいと考えており、庁舎再編整備事業関係予算の執行については、保留したいと考えている。そのことを踏まえ議案第48号を審議していただきたい」との発言があった。】

質疑 社会福祉協議会に対する補助金は、どういう根拠に基づいて1億円を出しているのか。

答弁 19年度以降、補助金1億1,975万3,000円、職員の人件費相当分を市から出して

る。10%の削減は、ここ3年ほどの収支状況や繰越剰余金の額を加味しながら削減した。

質疑 農道、水路整備に対する補助額が8割に等しい。

答弁 28年度2,000万円の予算を計上している。対象は今までと同じ条件だが、農道舗装改良については、幅員が2m以上、受益者が2戸以上になっている。

質疑 企画部でやっているリフォームと建設部のリフォームは重複して利用できるのか。

答弁 同じ建物でも重複できる。ただし、工事を完全に分けてもらう必要がある。

(他にも3日間にわたり様々な質疑があった)

質疑を終了後、反対討論賛成討論があり、起立採決の結果、賛成多数により、議案第48号は、可決することに決定した。